

大佐既に旅順口艦隊の状況如何を知れりといはば斯の如き危険を冒すの不當なるは固よりなりとす故に大佐之れを知れりといはば大佐は其加へては大佐は日本望樓をして其艦隊を監視せしめ又日本艦隊をして之を遮断するの行動を執らしむるが如く若く日本海岸に接近するも是は避けざるべからず是を以てか大佐は其加へ得べき損害を加へ得たる後再び其策源地に歸還するを謀るものなりとすべし

其後集められたる艦隊は近々露國領に於て海軍を行ふべき大準備を有せざるを示すを以てか露國は商業航路の爲めに運動する自國の私船に其強大なる行動を支持する爲め之れに適當なる準備を行ひたるや否や頗る疑なき能はず浦鹽新島の巡洋艦等は遠く外洋に出づるを敢てせざるの状あり此等の諸艦にして緊く浦鹽新島に結着するに於ては其動作は久しからずして中止されざるべからざるなり

居れり然れども此點に於ては總督誤られ居るに庶幾し我東京通信員よりの報道は甲斐巡洋艦若手八雲の共に艦隊の損害を負ひたるを告ぐるも此兩艦は目下佐世保の船渠にあり間もなく再び其巡航を行ふに至るべきを云へり新購巡洋艦日進、春日は昨朝無事横須賀に到着せり其成るべく速に役務に就かしめらるゝは必然なり

明治三十七年四月一日時事

タイムスの軍事批評 (九)

タイムスの軍事批評家が其二月十八日發行の紙上に於て論じたる所左の如し
露國が戦争に對して不用意なりし結果その太平洋艦隊に於て彼の如き災害を蒙りたるも是は露國の一時中絶したる時に當りて再び此問題を論究し尙ほ我等の記憶に新なる千八百九十九年の事(南阿戰爭)と之を比較して我等は同一の災害に備ふる爲め果して完全に武装せる所あるや如何を自ら反省するの頗る有益なるを露國の旅順口に於ける露國司令官が不用意の罪は漸じて許すべからずと露國海上に於て彼の如き災害を受けたる根本的原因は之を以て露國の股肱が戰鬪に對して必要なる警備を與へざるの罪に歸せざるべからず露國の設備は凡て平和を表明し居たり戰鬪艦の主力艦隊は濶開したる領地に出でし警泊せり是れ露國前日本領に於て論じたるが如く艦隊を擧げて敵の攻撃に委せ且つ敵の攻撃を誘はんとするものならざるを得ず仁川港の保護艦亦孤立して其援に遠く義勇艦隊船隻及び其他の露國船舶は日本の存立を無視するものゝ如

戦争批評 (九)

くにして所在に其平常の任務を行ひ居たり露帝の其實言を云へるが如く露國が「日本の挑戦に對し武器を以て應ずべき」の命を發したるは實に本月八日の夜露の報復彼得保に達したる後なりとす斯の如く其平和を確信し居たるは露に無邪氣なる兒童の爲にして商議は日に一明白に開戦の方向に進行し五日に至りて遂に栗野氏は日本の意志に何等の疑念をも指すべからざる一箇の通告を露國に呈せり此通告は眞率にして且つ明白なり六日の信報を以て公表する次で日本公使は撤退せり露國の云ひ得べき唯一の苦情は攻撃の地點と且つ其戦艦を初むべき精密なる時刻を指示せざる一事なりとす是れ平時に於ける演習には之を爲すとありと雖も戰時に於ては即ち然らず斯くて其準備に何等の變更を加ふるもとなく又何等の命令の發せらるゝもとなくして彼のヨロツカス(巨儀)は殆ど解すべからざる不用意を以て之に打撃の下を待てり而も其待つや久しからずして打撃は乃ち下れり

海軍と陸軍とに於ける
敗戦の差
露國に於ては維しや不意撃を蒙るもとありとするも之が結果の其攻撃を受けたる露國一部

隊より以外に互るもとあるは極めて稀なり露一國の陸軍なるものは廣大なる全領土の上配置され居るを以てなりとす爲めに一部隊の運命は戰鬪全局の上に多く影響する所あるなし海上にありては其事情大に之に反す開戦前五分時に於ける露艦は僅に制海權得露の差を生ぜしむるに足れり露國の最良軍艦を包含せる太平洋艦隊は十四に對する十一の割合を以て聊か其敵に劣る所ありたりと雖も而も尙ほ數日前までは勇戦奮闘して大勝利を得るが然らざるも亦其滅亡を壯にするに堪へたるものありたり然るに其狀今即ち如何に爲す所なき破船の集團のみ其最良なる軍艦は旅順口の淤泥と岩礁の上に自由を失ひて膠着し其他は沈没し燃焼し損傷し又破壊せり遂に自ら勝利を得るも能はずして又一艦をだも敵を沈むるも能はずし唯その最後の美なりしは一のワリヤーグのみなりとす

の露國船舶は日本の存立を無視するものゝ如

くにして所在に其平常の任務を行ひ居たり露帝の其實言を云へるが如く露國が「日本の挑戦に對し武器を以て應ずべき」の命を發したるは實に本月八日の夜露の報復彼得保に達したる後なりとす斯の如く其平和を確信し居たるは露に無邪氣なる兒童の爲にして商議は日に一明白に開戦の方向に進行し五日に至りて遂に栗野氏は日本の意志に何等の疑念をも指すべからざる一箇の通告を露國に呈せり此通告は眞率にして且つ明白なり六日の信報を以て公表する次で日本公使は撤退せり露國の云ひ得べき唯一の苦情は攻撃の地點と且つ其戦艦を初むべき精密なる時刻を指示せざる一事なりとす是れ平時に於ける演習には之を爲すとありと雖も戰時に於ては即ち然らず斯くて其準備に何等の變更を加ふるもとなくして又何等の命令の發せらるゝもとなくして彼のヨロツカス(巨儀)は殆ど解すべからざる不用意を以て之に打撃の下を待てり而も其待つや久しからずして打撃は乃ち下れり

海軍と陸軍とに於ける
敗戦の差
露國に於ては維しや不意撃を蒙るもとありとするも之が結果の其攻撃を受けたる露國一部

開きては爲めに軍中に... 是れ艦隊の損失のみならず威名の損失なり... 戦艦の損失は軍に軍の損失なり他に何等の影...

官戦前の襲撃

我等は敢て二月八日に於ける日本の夜襲を... せんを欲するものにあらざるも其行動を執...

以て至大の幸福なりと爲さるべからず豈に... 戦艦と政治組織... 政治より云へば露國と日本は同一の條件に...

戦艦と政治組織

次いで起るべき問題は政府の組織は之に改良... 一方に於ては即ち之に附随するの手續執られ...

英國の政治組織と戦艦

我等の要するは實に英國國民の此實例のみ... 之に比して過大なるを要せず又不及なるべ...

タイムスの日露戦争批評(七)

タイムスの軍事通信員が二月十九日發行の紙上に論じたる所左の如し

十四日早朝旅順口の港外陸地に於て露國艦隊... 爲力とを以て日本製驅逐艦連島、朝霧の二艦...

千八百七十五年二月廿五日制定の佛國憲法が... 其第三條に於て「共和國大統領は... 兵馬の...

事の保護を任とする器械に其自動力を保する... に足るのみ我等は國民の大利益を危言に瀕...

るなり此驅逐艦は共に八日の夜襲に加はらざ... りしものなるを以て此等の艦隊は前進マルニ...

を防ぐの道なき勿論なりと苛鈍に對しては... 神も亦如何ともするも能はざるなり英國の...

此任務は第一回の攻撃に比して更に一倍危険... なりと爲さるべからず何となれば今回は最...

旅順口に落下したる如き災難をして戦時我... 等の上に落下せしめざらんことを欲せば我等...

に於ては十七日まで旅順口静穏なりしとの報... あると共に又十四日即ち二驅逐艦の進襲と試...